

2024/10/8 (火)

朝の礼拝

聖書 マルコによる福音書 2章 1-5節 (旧約聖書 62頁)

数日の後、イエスが再びカファルナウムに来られると、家におられることが知れ渡った。大勢の人が集まったので、戸口の辺りまで全く隙間もないほどになった。イエスが御言葉を語っておられると、四人の男が体の麻痺した人を担いで、イエスのところへ運んで来た。しかし、大勢の人がいて、御もとに連れて行くことができなかったため、イエスがおられる辺りの屋根を剥がして穴を開け、病人が寝ている床をつり降ろした。イエスは彼らの信仰を見て、その病人に、「子よ、あなたの罪は赦された」と言われた。

心の平安

私たちは自分が元気でいなければと考え、家族が健康で過ごし、誰もが心の平安を願っています。しかしイエスは私たちがひとたび病気やケガ、災害や事故に遭うと、不安と恐れで心が取り乱すことをご存じです。それを悪霊の仕業と言っています。

イエスは病める人の心から悪霊を追い出し、不安や恐れを取り除き、心の平安を回復させて下さいました。やがて大勢の群衆がイエスをひと目見たい、教えを聞きたい、衣の房だけでも触れたいと、イエスのおられる家に集まったのでした。

そこへ身体の麻痺した人が運ばれて来ました。戸口は人で溢れ、イエスに近づくことも、家に入ることもできませんでした。彼らは家の外階段から床を担ぎ上げ、屋根を壊して、四隅を支えながら、イエスの頭上に床を降ろしたのでした。

イエスは「彼らの信仰を見て」とありました。床を降ろす彼らの表情に、彼らの心の内を見たのでしょうか。もう何も言わなくても、彼らから悪霊が去って行くのが見えたのでしょうか。イエスは「子よ」と呼びかけます。あなたも赦され、愛されている家族だと言っています。

(しばらく黙想しましょう)

慈しみ深い主よ、わたしたちはあなたが共にいて、守り導いて下さる方だと信じ祈ります。しかし病や悲しく、辛い時、あなたが遠くへ行ってしまったようで不安と恐れに襲われます。どうか、いま平和を祈り、穏やかな日々を願う人々に、互いの痛みに思いを寄せ、赦し、愛し合う道を歩ませてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン